

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
- 2 ご回答は、選択肢に ○ をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある () 内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時刻をご記入いただく場合は、24 時間制 (例：午後6時→18時) で記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、10月31日(木)までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

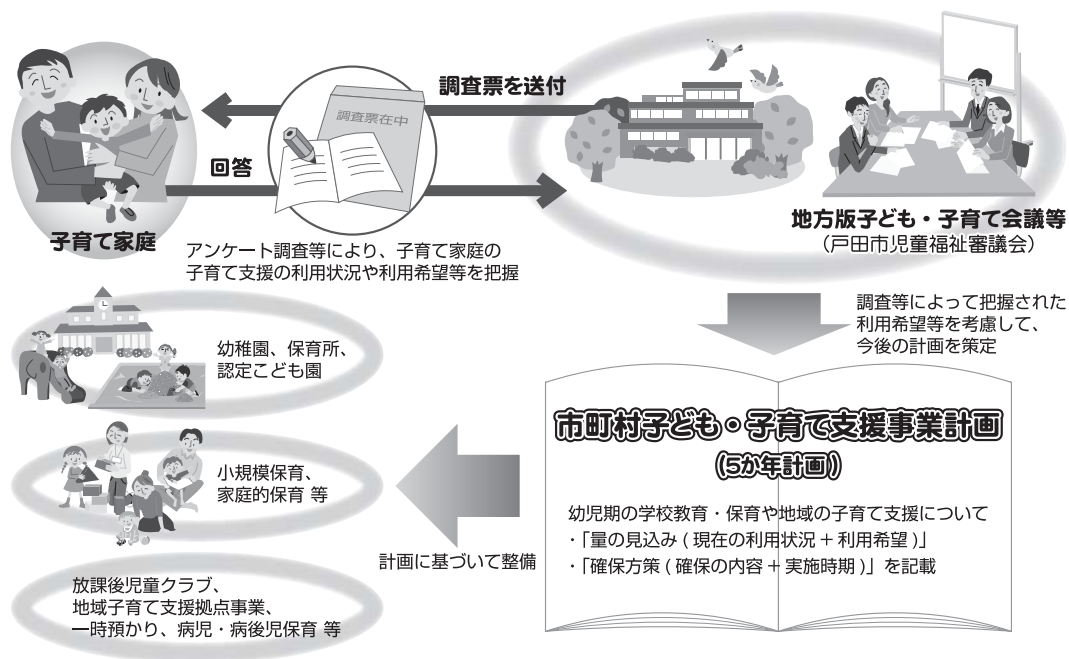
戸田市役所子ども青少年部子ども家庭課 電話 048-441-1800(内線 454)

調査実施の趣旨とその目的

戸田市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下『子ども・子育て支援新制度』といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施予定）。

この調査は、幼稚園・保育所・学童保育室などの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するために、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



（子ども・子育て支援新制度の趣旨）

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業(保育ママ)
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
家庭保育室・ナーサリールーム	市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業
ファミリー・サポート・センター	保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業
緊急サポートセンター	子どもが病気の時や緊急的に保育が必要となったときに子どもを預かる事業
こんにちは赤ちゃん訪問	生後4か月までの赤ちゃんのいるすべての家庭を保健師が訪問する事業
産前産後支援ヘルプサービス事業	妊娠中または出産後1年未満の方に、家事・育児を支援するヘルパーを有料で派遣する事業

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 下戸田地区 (喜沢・喜沢南・中町・下戸田・下前・川岸1～2丁目)
2. 上戸田地区 (上戸田・大字上戸田・本町・南町・戸田公園・川岸3丁目)
3. 新曽地区 (大字新曽・新曽南・氷川町・大字下笹目)
4. 笹目地区 (早瀬・笹目・笹目南町・笹目北町)
5. 美女木地区 (美女木・大字美女木・美女木東)

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。 ※ (□内に数字でご記入ください。)

平成 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字で記入してください。

※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)

きょうだい数 □ 人 末子の生年月月 平成 □ □ 年 □ □ 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 母親
2. 父親
3. その他 ()

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

(あてはまる番号1つに○) (問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他 ()

宛名のお子さんの子育てをめぐり環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父母ともに
2. 母親
3. 父親
4. 祖父母
5. 幼稚園
6. 保育所
7. 認定こども園
8. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭
2. 地域
3. 幼稚園
4. 保育所
5. 認定こども園
6. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒ 問10へ | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

⇒ 問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問10-1へ | 2. いない/ない ⇒ 問11へ |
|-------------------|------------------|

問10-1 問10で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|--|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設
(子育て広場、親子ふれあい広場、児童センター等)・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育所 |
| 7. 幼稚園 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 | 【例】ベビーシッター |

(1) -1 (1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/> 時間
-------	------------------------	-------	----------------------	-------------------------

(1) -2 (1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/> 時	帰宅時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/> 時
--------	----------------------	------------------------	------	----------------------	------------------------

(2) 父親 (あてはまる番号1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です。

- | | |
|---|------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、
育休・介護休業中ではない2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、
育休・介護休業中ではない4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、
育休・介護休業中である5. 以前は就労していたが、現在は就労していない6. これまで就労したことがない | } ⇒ (2)-1へ |
| | } ⇒ 問14へ |

(2) -1 (2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	<input type="text"/> 日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/> 時間
-------	------------------------	-------	----------------------	-------------------------

(2) -2 (2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/> 時	帰宅時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/> 時
--------	----------------------	------------------------	------	----------------------	------------------------

問13 問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問14へ

フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

- 1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- 1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 ⇒該当しない方は、問15へ
就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○)
※該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
 - 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | | |
|---|--------------------------|---|
| ① | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) | } |
| | | |
- 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
 - 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- | | | |
|---|--------------------------|---|
| ① | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) | } |
| | | |
- 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の 利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ |
|----------------------|-----------------------|

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕)
3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けたもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業〔保育ママ〕)	6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. 家庭保育室・ナーサリールーム (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設)	8. その他認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業)
11. その他 ()	

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に数字でご記入ください。

※時間は、必ず(例)08時～18時のように24時間体制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間(□	□	時～	□	□	時)
-------	---	---	-------	---	---	-----	---	---	----	---	---	----

(2) 希望

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間(□	□	時～	□	□	時)
-------	---	---	-------	---	---	-----	---	---	----	---	---	----

問 16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) 〔平均利用料(月額)：25,000円程度〕 ※所得に応じた利用料補助あり	2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕) 〔利用料：1回600～1,500円(時間による)〕
3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けた保育所(定員20人以上)) 〔利用料(月額)：0～57,000円 (平均27,000円程度)〕 ※所得・児童年齢に応じた利用料設定	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 〔利用料：1日4時間程度利用…幼稚園と同様 1日8時間程度利用…保育所と同様〕
5. 小規模な保育施設 (市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) 〔利用料は認可保育所と同様〕	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業〔保育ママ〕) 〔利用料は認可保育所と同様〕
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) ※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけて下さい	8. 家庭保育室・ナーサリールーム (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) 〔平均利用料(月額)：58,000円程度〕
9. その他認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 〔利用料は認可保育所と同様〕
11. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業) 〔平均利用料(1時間)：700～800円程度〕	12. その他()

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

「2. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。

1. 戸田市内	2. 他の市区町村() 市区町村
---------	-------------------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の 利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「親子ふれあい広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。）

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回 程度

2. 利用していない

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号1つに○）

※おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが利用したい

1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回 程度

2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい

1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □回 程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

※①～⑦の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②福祉保健センターの相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③こども家庭相談センター （こども家庭課内）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤こんにちは赤ちゃん訪問 （新生児訪問事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥産前産後支援ヘルプサービス事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育て支援情報誌 （戸田市子育て応援ブック）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない | |
| 4. 利用料がかかる・高い | 5. 利用料がわからない |
| 6. 親が仕事を休んで対応する | 7. その他() |

⇒ 問 23 へ

問 22-5 問 22-1 で「3.」～「9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

(あてはまる番号1つに○)

※「3.」～「9.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を□内に数字でご記入ください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 23 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6 へ |

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 大規模施設で子どもを預かる事業 (例: 幼稚園・保育所等) |
| 2. 小規模施設で子どもを預かる事業 (例: 戸田公園駅前子育て広場等) |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 () |

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)

※それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□ □ 泊
	③ 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	□ □ 泊
	④ 子どもを同行させた	□ □ 泊
	⑤ 子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	⑥ その他 ()	□ □ 泊
2. なかった		

問 25-1 問 25 で「1. あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 ⇒ 「①」以外を選択した方は、問 26 へ
その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかというと困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|---------------|-------------|

宛名のお子さんが5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週あたり日数を□内に数字でご記入ください。

※「学童保育室」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

「学童保育室」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。〔平均利用料（月額）：5,500円程度〕

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童センター	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室※1	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 学童保育室	週	<input type="text"/>	日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週あたり日数を□内に数字でご記入ください。

※「学童保育室」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童センター	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 学童保育室	週	<input type="text"/>	日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問 28 問 26 または問 27 で「6. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。

((1) (2) それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。(例) 08 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 利用する必要はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※事業の利用には一定の利用料がかかります。

※利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください。(例) 08 時～18 時 のように 24 時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 利用する必要はない		

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 (母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)
 ※取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所(園)などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した
 15. その他 母親 ()
 父親 ()

問 30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。
 (あてはまる番号1つに○)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

(1) 母親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（どちらか 1 つに○）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

(1) 母親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

(2) 父親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月 希望 □ 歳 □ □ ヶ月

問 30-5 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

※□内に数字でご記入ください。

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(あてはまる番号 1つに○)

(1) 母親

- | |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) |

(2) 父親

- | |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) |

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←—————→				満足度が高い
1	2	3	4	5	

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒（切手は貼らず）に入れ、10月31日（木）までに
郵便ポストへご投函ください。